

第3回横須賀市がん対策推進計画専門部会

会議議事録（要旨版）

開催日時	令和6年10月24日（木） 14時00分～15時30分
開催場所	ウェルシティ市民プラザ3階 第1研修室
出席委員 （敬称略）	土屋了介、豊田茂雄、水野靖大、谷村美希、堀江美保、鈴木麻友美、 芳賀美和
出席委員 （敬称略）	笈修一
事務局	杉本 茜：健康部健康管理支援課長 駒野 美樹：健康部健康管理支援課主査 増田 孝子：健康部健康管理支援課主任 矢内 涼子：健康部健康管理支援課主任 委託業者 1名
傍聴人	0名
配付資料	【事前配布】 資料1 横須賀市がん対策推進計画（案） 資料2 表紙（案） 資料3 第2回専門部会検討事項一覧表 【本日本配布】 資料番号なし 次第・裏面席次表 資料4 横須賀市がん対策推進計画専門部会会員名簿 資料5 37～38 ページ差し替え（案） 資料6 40～45 ページ差し替え（案） 資料7 49 ページ差し替え（案） 資料8 検診のメリット・デメリットについてのコラム（案） 資料9 妊孕性についてのコラム（案） 資料10 83ページ差し替え（案） 資料11 がんに関する情報発信リスト（案） 資料12 概要版（案）

次第	1 開会 2 議事 (1) 横須賀市がん対策推進計画策定案について ①「表紙案」について ②第1章「はじめに」 ③第2章「横須賀市のがんを取り巻く現状」 ④第3章「第2期がん対策推進計画策定の基本方針」 ⑤第4章「具体的な施策」 1「がん予防の推進」、2「がんの2次予防」、3「がん医療」 ⑥第4章「具体的な施策」 4「がんとの共生」 ⑦資料編 (2) 概要版案について (3) 今後のスケジュールについて 3 閉会
----	--

1 開会 事務局（健康部健康管理支援課長）となり、開会した。

- ・会議資料の確認
- ・部会員の出欠確認

「横須賀市がん対策推進計画専門部会細則」に基づき、8名中7名の部会員が出席しており、本部会が成立していることを確認した。

- ・傍聴について 事務局より傍聴の申し出がなかった旨を報告した。

2 議事

以後、部会長が司会となり、議事進行を行った。

議事（1）横須賀市がん対策推進計画策定案について

事務局より「横須賀市がん対策推進計画」（案）について、前回の意見、指摘事項の回答を元に修正した項目について説明し、部会長より意見を求めた。

各章に対する質疑応答は次のとおりである。

①「表紙案」について

事務局より「表紙案」について説明した。

部会員意見等：表紙上部に医療従事者として医師が描かれているが、患者の窓口としては「看護師」や「ソーシャルワーカー」の方が親しみやすいと感じる。がんの治療においては医師が重要な役割を果たすが、さまざまな相談に関しては医師が直接対応することは少なく、相談窓口や（看護）師長に聞いて、となることが多いと思われる。したがって、相談に対応する職種を主役として前面に出した方が、患者さんや市民にとって理解しやすいのではないかと感じた。

部会員意見等：今の部会長の意見を踏まえ、市民が中心となるべきなので、表紙案の市民の位置を下ではなく上に配置するのが良いと考える。医師は下支えの役割を示す方が適切であると思う。

部会員意見等：イラストにある観覧車は横須賀にあるのか。

事務局回答：ソレイユの丘にある。

部会員意見等：横須賀のイラストだと理解できた。ゴジラについては理解していたが、観覧車については知らなかった。

部会長意見等：市民が下であるのは、遠近法を用いて医療職をバックに小さく表現した意図があるのではないかと考えた。いずれにせよ、市民が主役であることが明確に伝わるのが重要だと思う。

事務局回答：表紙案について再度検討する。

②第1章「はじめに」

事務局より、第1章については基本的に変更がない旨を報告した。

部会員意見等：質疑応答・改善意見等特になく、承認された。

③第2章「横須賀市のがんを取り巻く現状」

事務局より、第2章について、修正事項、追加事項について説明した。

部会員意見等：18 ページ（8）の国別がんステージ別5年生存率を新たに追加することは良いことだが、県別の生存率グラフとのタイプが異なっているため、統一した方が良い。また、県別と国別で病気の表記順が異なっているため、統一して見やすくすることが望ましい。

事務局回答：グラフ様式について再検討する。

④第3章「第2期がん対策推進計画策定の基本方針」

事務局より、第3章について、修正事項、追加事項について説明した。

部会員意見等：32 ページの表は、大変わかりやすくなり、よいと思う。ただし、医療従事者の2番目の項目に「がんと診断された患者やその家族に診断したときから寄り添う」とあるが、「診断したときから」という表現に違和感を覚える。診断前や疑わしい段階から寄り添うものであり、この文言は不要ではないか。「診断したときから」とはつまり、「その人の一番最初から」という意味であろうが、記載することで逆に意味が限定的になっているように思われる。

事務局回答：「診断したときから」という文言は削除することにする。

⑤第4章「具体的な施策」1「がん予防の推進」、2「がんの2次予防」、3「がん医療」

事務局より、第4章の1、2、3について、修正事項、追加事項について説明した。

部会員意見等：資料8のコラムについてだが、横須賀市では胃カメラ検査もバリウム検査も実施していない。このコラムに記載されている胃内視鏡検査に伴う偶発症（出血や穿孔等）、胃エックス線検査に関して、これを掲載することで混乱を招く可能性があるのではないかと懸念している。この点についてはどうか。

事務局回答 : 「市のがん検診に対応して」というよりも、「一般的な検査に関して」としてお示ししている。ただしご指摘の通り、誤解を招く可能性が高いという意見が多いようであれば、記載内容を変更する。

部会員意見等 : 出典が「厚生労働省」と明記されているため、その情報を引用したということだと理解している。より広い視点での「がん検診」の考え方であれば、問題ないと思う。

部会長意見等 : デメリットに含まれているため、大きな誤解は生まれないと思う。横須賀から東京に通っている方で、会社の検診を受ける方もいる。ここで、あえてデメリットを書いておくことはよいと思う。

事務局回答 : 変更なしとする。

⑥第4章「具体的な施策」4「がんと共生」

事務局より、第4章の4について、修正事項、追加事項について説明した。

部会員意見等 : 99ページの緩和ケアが以来のある病院紹介欄の横須賀共済病院にも、衣笠病院同様、「かかりつけ医にご相談ください」という一文を入れてもらいたい。

事務局回答 : 横須賀共済病院の欄に「かかりつけ医にご相談ください」という一文を追記する。

部会員意見等 : 資料11記載内容について、中学2年生のピロリ菌対策事業の啓発は、冊子もある。

事務局回答 : 資料11の1枚目「中学2年生のピロリ菌対策事業」の啓発について、冊子の欄も○に修正する。

部会員意見等 : 99ページの緩和ケア外来の部分について、掲載されているリンク先がトップページであると、その先への進み方が分かりにくいと感じた。緩和ケア外来のページがあるので、そちらへのリンクへ訂正願いたい。

事務局回答 : リンク先について修正する。

部会長意見 : 大規模な病院ではメディカルソーシャルワーカーが活躍しているが、一般の方々には「MSW」という言葉が通じにくい場合が多いと考えられる。また、特に患者のご家族の中には、メディカルソーシャルワーカーの存在自体を知らない方が多いと思われる。コラムにおいて、そのような職種が特に大きな病院にはいるということを紹介することが必要だと考える。

部会員意見等 : メディカルソーシャルワーカーは、就労相談等にも対応している。

部会長意見 : 幅広い範囲をカバーし、それぞれの専門につないでくれる中間的な存在がメディカルソーシャルワーカーである。大きな病院では相当数のメディカルソーシャルワーカーがおり、がん相談もかなりの比重で行っていると思う。そのような職種があることを一般の方にも知っていただきたい。医療関係者もあまり知らないのではないかと。英語のままであるのもわかりにくい理由なのかと思う。「医療社会福祉士」など、よりわかりやすい日本語に表現することで、患者さんにも理解しやすくなるのではないかとと思う。

事務局回答 : メディカルソーシャルワーカーに関するコラムを作成・追加する。

部会員意見等：資料 11 連絡先の一覧に神奈川県がん患者団体連合会が入っているが、この連絡先でよいのか、県がん連に確認して、連絡する。

部会長意見：よろしく願います。

部会員意見等：53 ページの HPV ワクチン接種率について、データは多く掲載されているが、「安全性について特段の懸念が認められないこと」という一文についてはそれをデータとして見ることはできない。このことについて、自分が年頃の娘を持つ母親として考えた時、親が接種を受けさせない理由の一つは安全性に対する懸念であるため、その点について具体的なデータが示されれば、「なるほど、効果があり、副作用もこのようなものだ」と理解でき、接種率（40.6%）がさらに増加するのではないかと思うがどうか。

部会員意見等：（HPV ワクチン接種の安全性について）副作用がそれほどないというデータをどこかに掲載するという形だろうか。今すぐにどこに載っていると提示できないが、多分あるのではないかと思う。

部会長意見：外国のものが中心となると思われる。

部会員意見等：（データがある場合）それをどのように扱うべきかについてだが、直接的なデータを載せると、一般の方にはわかりにくい可能性がある。そのため、一番良い方法は、厚生労働省や信頼できる機関の出典を示し、その上で安全性について説明したホームページにリンクを貼る形が最適だと思われる。

事務局回答：厚生労働省のホームページは 53 ページの下部に記載されているが、副作用に関する部分を出し出してアクセスできる形にできるか検討する。わかりやすさを確認した上で、記載したいと考えている。

部会長意見：おそらく、疼痛や心因性の問題に関して懸念される方が多いと思われるので、その点について非常に低いリスクであることを示す文言を引用すればよい。

⑦資料編

事務局より、資料編について説明した。

部会員意見等：質疑応答・改善意見等特になく、承認された。

議事（2）概要版案について

事務局より、概要版案について説明した。

部会長意見：資料 1 の本編の 32 ページに載っているマスコットは概要版には入れないのか。

事務局回答：「スカリン」という海の妖精のマスコットで、いろいろなものを持っている「スカリン」がいる。概要版にも、ふさわしい「スカリン」を配置したいと考えている。

部会長意見：概要版に掲載することで、和やかな印象を与えると思う。マスコットもぜひ活用していただきたいと考えている。

部会員意見等：概要版の最後の索引に「終末支援」とあるが、「終末期支援」の間違いではないか。

事務局回答：修正する。

全体的な意見

各部会員より全体的な意見を一人一人述べていただいた。

部会員意見等：市民目線で活発な議論ができたと思う。皆さんの努力の結果、内容が大いに改善されたと感じている。

部会員意見等：第1期のときも参加したが、第1期ではがん克服条例の記載事項を形にすることが目標だった。今回はそれを具体的に活用できる形に進展できたと感じ、大きな違いがあると思う。

部会員意見等：とてもユニバーサルなものに仕上がりに、愛着が湧き、患者さんにお勧めしたいと思えるものに仕上がったと思う。32ページ（目指すべき姿と役割）の（横須賀市）の上から3番目に、「年代に応じたのがん教育」とあるが、「の」が不要なので、削除をお願いする。

事務局回答：不要な「の」を削除する。

部会員意見等：会議に参加できて大変勉強になり、感謝している。薬剤師としては、服薬管理が主な役割だが、がんの診断後のウィッグやヤングケアラーについては、薬剤師会を通じて説明を行っていきけるとよいと思う。

部会員意見等：市民目線でわかりやすい内容が盛り込まれていると思う。概要版は市民が手に取る機会がより多いと思う。概要版案9ページの患者会について、「がんのサポートハンドブックに掲載されている」と記載されているが、県のサポートハンドブックには横須賀市の患者会が記載されていない。可能であれば、横須賀市の患者会を掲載した方がよいと思う。

部会員意見等：ハローワークから参加し、多くのことを学べて感謝している。以前、女の子にワクチンは接種してはいけないと言いつけていたが、そのようなことはないと教えていただいた。現在、ハローワークの職員にはがんに関する例えば点滴のクールに関する事などを教育しながら窓口に立ってもらっているが、まだ不安もある。病気で辞めることについても、私たちがもっと学び、対応を進める必要があると感じている。この資料は良いものだと思うので、職員にも共有し、活用したいと考えている。

部会長意見：・とても良いものができたと感じている。事務局には調査と修正をこまめに行っていただき感謝する。

- ・教育の重要性について、子宮頸がんをはじめ、子どもの時期から対策を講じる必要があるものがある。ある意味、大人になってからでは遅いということだ。タバコに関しても、喫煙後に相談されても遅いので、やはり子どもの教育で「吸わない」という意識を育むことが重要である。がんは予防が大事だと言われるが、まさに子どもの時期からその知識を与えておかなければ、後で「しまった」と思っても遅すぎるため、ぜひ、この点について教育委員会などと協力し、さまざまな取り組みを行っていただきたい。
- ・メディカルソーシャルワーカーについて、次回このような機会（専門部会）があった時には、共済病院にも優秀なMSWがいると思うので、横須賀市の会議においても、そのような職種の方を加えることで、さらに患者目線や市民目線がブラッシュアップできるのではないかと思う。

- ・他の自治体にも誇れるような良い計画ができると思う。事務局には、最終的なゴールに向けて引き続き尽力をお願いする。

議事（3）今後のスケジュールについて

事務局より、今後のスケジュールについて下記を説明した。

- ・パブリックコメントの実施。意見募集は11月11日から12月2日まで。
- ・最終案は1月下旬から2月上旬に横須賀市保健医療対策協議会に提出
- ・3月の議会で報告し、承認後に完成。
- ・完成後、印刷・製本し、ホームページに掲載予定

3 閉会

事務局に司会を交代し、閉会挨拶。

事務局より、本部会の議事録、会議資料は市政情報コーナー、ホームページで情報公開を行っており、部会員名簿に記載された内容で公開することを了解願いたいと依頼した。

(以上)